

第7回 ユース 発足準備会合

2007年6月7日(木)

N/A

UNU 6F Committee Room

参加者(敬称略)

<学生>

青木真理子	小尾絵生	高本優子	長谷川賢司
青羽真利	木村浩二	戸田愛矢	服部祐也
荒川靖子	木村友哉	中島佳代	原澤竜馬
飯岡哲平	河野佑太	中村恵太	廣瀬留衣
伊藤瞳	小沼大地	成沢祐乗	水野慎也
稲葉潤紀	坂下加奈子	沼百愛	村本智大
荻野智史	猿田宏司	野田文子	山田心健

計 28 名

<UNHCR>

職員 岸守一(駐日副代表)・千田悦子・小坂順一郎
インターン 牧村匠太郎(ユース)副島知哉(広報・渉外)

計 5 名
合計 33 名

1、ブリーフィング(岸守副代表)

1 事務局選出結果 4人の選出(男女各役職1名ずつ)

事務局長 水野、坂下

副局長 稲葉、小尾

2 シンポジウムのスケジュール(添付資料参照)

J-FUN 主催の第1部、UNHCRの第2部をつなげるプランとして

- ・ BGMにアンジェラ・アキ「HOME」(難民が家に帰るというコンセプトで)
- ・ メッセージボード
- ・ 菊川怜インタビューを入れる。

* パネルディスカッションにおいては、ADEO、SHRET、JPFを鏡にして、彼らの活動の観点から難民支援に関する思いをぶつける。

- * スルガさん(Art Director)、によるイベントプロデュース(ムービー、BGM など)が行われる。

3 関西に関して

- * 緒方さんのビデオレター／岸守他のインタビュー を撮影して、関西で流す予定。
- * 関東とのインターアクションをどんどん作っていこう。
- * 「Invisible Children」という6月下旬に東京で行われる難民映画祭で流される予定の映画を先行上映します。

Q関東関西がより一体感を持つためにはどうすればよいか？

今村: スカイクで関東と関西を難民の日当日つなげる案が駄目になり、関西へ向けた関東ユースからのメッセージ、関東へ向けた関西ユースからのメッセージというビデオレターでの交換になった。関東とのつながりを保つために、休みを利用した総会を開きたい

川畑: 模擬キャンプを郊外で行なうイベントなどを利用して、関東関西の交流をはかる。

岸守: WRD での模擬キャンプの説明。

水野: オリンピックセンターを利用した泊り込みのセッション。山梨では12人、コアとなつては8人いる。

岸守: 距離感はその個人の個人が決めるもの。興味⇒参加⇒ボランティアにまで参加⇒事務局などコアとして参加。事務局の仕事は、誰もが自分自身の距離感で少しでも参加できるような努力をすること。「普段着の難民支援」を UNHCR は標榜して、様々な企業団体の支援をうけている。

(ビデオレターの中においてユースの抱負を語るメッセージボードについて)
UNHCR 側が考える企画とは異なった視点、若者ならではの視点を盛り込むことができればよい。

- * 牧村によるブリーフィング
 - ・ ログ案は、WEB などでのみな意見をすくい上げて決定する。
 - ・ バルーンテントの学生による案内ボランティア(ガイド)の募集
- 12、13日17時から2時間

2、シンポジウム (水野、小尾)

1 シンポの流れの確認

- ・ パネル討論の形式

- ・ オープニングおよびメッセージボードの確認(BGM「HOME」)
- ・ ムーブスライドと共に、ユースのメンバーが徐々に壇上にあがる。
歌詞を後ろのスクリーンに映すのか
- ・ 一連のイベントをサポートするメンバーの募集 稲葉・坂下・高本さん

2 クロージングでの手伝いの募集

3 スライド形式の写真をとる。

4 関西でのイベントに送る関東ユースのビデオ撮影について

・フォーカルによる関東の活動紹介⇒メンバーのメッセージ⇒一言

<1分:事務局、1分:ユースメンバー(+♫の一言)、2分:岸守さん>

荻野: Tシャツを次々脱ぐという案はどうなったのか。

岸守: 当日の手伝いに人数をさきたい。席をユースが占拠すること及び抜けた後の席がもったいないという事情がある(Art Director)という進言。

3、座談会の内容

小尾: 座談会の中にユースの説明(発足の経緯、活動など)を盛り込む。

岸守: ただ流すのでは面白くない。菊川怜さんを使ってどのように観客を取り込みつつ、またスピード感をもたせつつ、行なう。スピーチの流れをユースのメンバーに考えてもらう。「なぜこの場に来ているのか」という問題を掘り下げていくことが重要。

荻野: ネガティブな「難民」のイメージをかえるような方向性は？

岸守: 「かわいそうな難民」というイメージがつたわってしまうことが最も危険。

4、関西へのビデオレター

ビデオレターについてのコンテンツ案が出された。事務局より辞/ユースメンバーよりメッセージ/締めメッセージ、など。

<メッセージ案> みんなで一緒にどでかいことかましたろうや！ /we are UNHCR ユース！ YEAH!!! /大きく動く！（動こう！）/お互い手をとっていこうや/きばっていこうや/負けない/今のうちにしかできなことやってこや/チャレンジ/UNHCR2.0/Are you ready ?? イエーイ！ /UNHCR でアイウエオ作文/

→結局、関西へのビデオメッセージは、
「Uと一緒に、何でもできる、ホットで、チャレンジングなレストラン！
UNHCRユースへ ようこそ！」に決まりました。



UNHCR Youth Minute

<ロゴ>

ロゴの応募総数は 38 コ!

スキャンして、ユース全員がネットで投票できる形式にしよう。

- ・ ロゴ投票専用のブログを作ってはどうか。

- ・ 1次投票 6月9日～11日 締め切り
投票法:一人3点持ちで、投票。
一つに3点でも、2つに分けて2点、1点でもよい。

- ・ 2次投票 6月12日、13日までには決めたい。

以上